

自己評価報告書

平成 23 年 4 月 20 日現在

機関番号：16102

研究種目：基盤研究 (A)

研究期間：2008～2011

課題番号：20242005

研究課題名 (和文) 先史岩面画博物館の構想のための基礎的調査研究

研究課題名 (英文) Fundamental survey researches for the conception of prehistoric rock art museums

研究代表者 小川 勝 (OGAWA MASARU)

鳴門教育大学・大学院学校教育研究科・准教授

研究者番号：60214029

研究分野：美術史

科研費の分科・細目：芸術学・芸術学・芸術史・芸術一般

キーワード：美術館、博物館学

1. 研究計画の概要

「日本先史岩面画研究会 (JARA)」による継続的な調査活動の一環として、平成 20 年度には、まず鹿児島県徳之島における共同調査を計画している。徳之島には先史岩面画遺跡が複数あり、これまで断片的に報告されているが、その全貌は未だ明らかではない。多くの分野の研究者とともに、JARA が培ってきた研究方法意識により、総合的な観点から現地調査を行いたい。

平成 21 年度には、北東アジアの先史岩面画遺跡の中で、まだまとまった報告がなされていない、中華人民共和国の大興安嶺地域の先史岩面画遺跡の調査研究を予定している。

平成 22 年度には、先史岩面画博物館構想に資するためにフランス共和国のピレネー地方に位置するニオー洞窟壁画と、その近くの広大な博物館施設である「先史公園」を調査する予定である。

最終年度である平成 23 年度には、国内での研究会を数回開催し、これまで得られたデータを分析することにより、本研究の成果を明らかにしてゆきたい。成果報告書の作成を通じて、先史岩面画博物館の構想を提起してゆくことになるだろう。

2. 研究の進捗状況

平成 20 年度には、台湾・台北の十三行博物館で、先史岩面画の特別展が開催されるとの情報を得て、急遽現地に赴いた。資料も入手し、台湾南部山中の萬山先史岩面画遺跡に関する基礎データも確認した。ついで、予定通り、鹿児島県徳之島の先史岩面画遺跡群を現地調査した。

平成 21 年度には、研究計画にはなかったが、北海道枝幸町で、北海道開拓記念館との

共催で研究集会を実施し、ついで、計画通り、中国・寧夏回族自治区の賀蘭山遺跡群などの現地調査を行い、付近に設置されている先史岩面画博物館を調査した。

平成 22 年度には、計画に従って、フランスとスペインにおける先史岩面画遺跡と博物館の調査研究を実施した。さらに、翌最終年度の予定だった国際研究集会を、研究会の主要研究対象である、北海道余市町のフゴッペ洞窟岩面刻画発見 60 周年にあたっていたので、海外から国際的研究者を招いて、シンポジウム等を開催し、多くの参加者を得ることができ、調査研究の社会的な広がりを実現した。

3. 現在までの達成度

①当初の計画以上に進展している。

研究の準備中、および遂行中に新たな情報を得て、計画にはなかった台湾や山形県飛島での予備調査を行い、また、研究の進展に応じて、北海道枝幸町における研究集会を共催し、22 年度には、上にも記しているとおり、最終年度である今年度に予定していた国際研究集会を成功裡に終えることができた。研究計画書に元々記していたものはすべてこなしており、全般的に当初の計画以上に進展していると、自己評価できる。

4. 今後の研究の推進方策

今年度は、国際研究集会を開催する予定であったが、昨年度に既に終わっているので、調査研究の進展の中で、新たに課題として浮かび上がった、北東アジアに直接連なる環太平洋作品群の一つであるハワイ諸島の調査研究を、急遽実施することとした。

それとあわせて、計画書にあるとおり、こ

れまでの調査研究や研究集会の記録を印刷する。

5. 代表的な研究成果
(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 4 件)

- ① 小川勝 レバント美術再訪 査読無し
スペイン・ラテンアメリカ美術史研究会誌 第21号 2010 6-9
- ② 小川勝 韓国岩面刻画発見 40 周年記念
国際研究集会に参加して 査読無し
JAPAN ICOMOS INFORMATION
8 期・4 号 2010 14-15
- ③ 小川勝 フォッギーニの制作年代：ギ
ルフ・キビール地域 (エジプト) の先
史岩面画 民族藝術 査読有り 第26
巻 2010年 35-43
- ④ 小川勝 呪術説の諸問題：洞窟壁画の
解釈をめぐって 査読無し 鳴門教育
大学研究紀要・芸術編第23巻 2008年
325-335

[学会発表] (計 4 件)

- ① Masaru OGAWA Dating
Petroglyphs from Fugoppe Cave,
Japan 韓国岩面刻画発見 40 周年記念
国際岩面画学会 2010 年 10 月 26 日
ソウル、韓国国立中央博物館
- ② Masaru OGAWA Power of Seeing:
high quality and diversity of Parietal Art
in Chauvet *Pleistocene Art of the
World Congress 2010 IFRAO
Congress*, 2010年9月9日
Tarascon-sur-Ariège and Foix, France
- ③ Jannu IGARASHI Chronologie de la
réalisation d'une frie de mammoths
dans la grotte de Rouffignac
(Dordogne, France)
*Pleistocene Art of the World Congress
2010 IFRAO Congress*, 2010年9月9
日 Tarascon-sur-Ariège and Foix,
France

- ④ 小川勝 「構造主義的」解釈の諸問題：
洞窟壁画の解釈をめぐって 第 107 回
日仏美術学会例会 2008 年 7 月 25 日
京都市・京都大学

[その他]

- ① 小川勝 先史岩面画研究の現在
査読無し 北海道新聞夕刊 2010
年11月2日付